

令和8年度～令和17年度
さとうきび増産に向けた取組目標及び取組計画（3期）

本島南部

策定主体：本島南部地区さとうきび増産プロジェクト会議

地域において目指す姿

沖縄本島南部地域においては、収穫面積を維持するため、①地域計画と連動した遊休農地の解消や農地の流動化により規模拡大、②経営規模拡大を志向する農家に対して農地中間管理事業等の活用による利用集積、③後継者の育成を図る。また、機械収穫の要望が高まっていることから、ハーベスター導入の促進、受託業者等のオペレータ育成に努める。
 また、優良品種の導入普及、フィルターケーキや堆肥等を活用した土づくりを推進、簡易なかん水方法を探索し農業用水利用を促進するとともに、認定農業者や生産法人の育成、受託業者等による機械化一貫作業体系を推進する。
 なお、さとうきびの増産を図るためには、生産者、農協、製糖工場、市町村、県関係機関等が一体となった生産体制の整備を図ることが重要であり、関係機関の連携強化し目標達成に向けた取り組みを推進するとともに誰一人取り残さないよう、パートナーシップを発揮し皆で目標を達成する。

増産計画目標

(1) 生産目標

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
R6年産策定時	53	149	894	1,096	7.4	5.3	5.6	5.6	3,939	7,847	49,975	61,761	
R8年産	目標	57	148	895	1,100	7.5	5.3	5.7	5.7	4,275	7,844	51,015	63,134
R9年産	目標	59	147	895	1,102	7.5	5.3	5.7	5.7	4,425	7,791	51,015	63,231
R10年産	目標	61	146	896	1,104	7.5	5.3	5.8	5.7	4,575	7,738	51,072	63,385
R17年産	目標	76	142	899	1,117	7.7	5.4	6.0	6.1	5,880	7,622	54,108	67,610

(2) 担い手育成目標

	区分	認定農業者			受託組織		大規模生産農家	
		13	17	31	13	17	31	
R7年度策定時		13	17	31	13	17	31	
R8年度	目標	13	17	31	13	17	31	
R9年度	目標	14	18	31	14	18	31	
R10年度	目標	14	18	31	14	18	31	
R17年度	目標	18	22	31	18	22	31	

*経営規模4ha以上の農家

(3) その他地域で独自に設定する目標

	遊休地を利用した夏植え面積	搬出機の整備	-	-
R7年度策定時		3台	-	-
R8年度	目標	5ha	3台	-
R9年度	目標	5ha	4台	-
R10年度	目標	6ha	6台	-
R17年度	目標	7ha	7台	-

(4) 分析と評価

① 2期計画で挙げた課題

- ・収穫機械の増加に対して株出管理機の台数がかなり不足している。
- ・生産農家の高齢化は年々進み60代以上が6割を占めており、粗放栽培、気象災害、病虫害（メイチュウ類）等により単収の低下が著しく新植比率が低下。
- ・難防除雑草の侵入が年々増加の傾向にあり、生育茎数の減少を助長している。
- ・労働力の流出に伴い収穫機や株出管理機等のオペレータ確保が困難になってきている。
- ・同様に手刈り収穫請負班の作業員確保も難しくなり生産農家の需要に対応しかねている。

② ①で挙げた課題に対して解決に向け取り組んだ内容

- ・国庫補助事業を活用し、株出し管理機等の導入を推し進めてきた。
- ・地域計画の策定に伴い、農地の担い手について地域で話し合い、目標地図を定めた。
- ・適切な農薬や除草剤の選択ができるようにするため、栽培講習会等において雑草や病害虫の特徴について情報提供を行った。
- ・機械士養成研修やオペレータ研修等の受講支援を行い、オペレータ数の確保に取り組んだ。

③ ①で挙げた課題のうち②により解決した課題

(改善した課題)

- ・国庫補助事業を活用し、株出し管理機等の導入が図られたが、利用時期の集中等により活用の推進が課題となっている。
- ・地域計画の策定に伴い、農地の担い手について地域で話し合いを行い、目標地図が定められた。

④ ①で挙げた課題のうち解決できなかった課題とその要因

- ・国庫補助事業等を活用して機械導入が行われたが、機械収穫の要望の高まりに追い付かず、引き続き機械整備の必要性が残っている。
- ・つる性雑草や牧草由来のイネ科雑草の侵入が年々増加の傾向にあり、生育茎数の減少を助長している。
- ・労働力の流出に伴い収穫機や株出管理機等のオペレータ確保が困難になってきている。
- ・受託作業サービスについて生産者に周知を図る必要がある。

⑤ 新たに生じた課題

- ・限られた操業期間内で収穫するため、南部地区外より応援機を依頼するなど収穫機械が不足している。
- ・夏植は2年後にしか収入が得られないことから、春植えに転換を希望する農家が増加している。
- ・多回株出しから新植にするには労力と費用がかかることから、更新できず、結果として株出し回数が増加している。
- ・ハーベスターの老朽化が進んでいるが、受益地区の制限により更新が進まない。

⑥ 令和17年産目標に向けた現状評価及び見通し

株出の単収を上げ、目標達成に向け、以下の取り組みを行う。

- ・雑草対策
- ・貯水池一覧の作成
- ・受託組織一覧の作成
- ・補植の推進
- ・病虫害防除の徹底
- ・ペレット堆肥等有機物、保水剤の活用の促進
- ・小型トラクターで活用可能な堆肥散布機の検討
- ・株揃による分けつ茎の発芽推進、基肥施用の推進

(5) 地域重点事項（地域独自で取り組んでいる重点事項を記載）

- ・収穫機械オペレータ研修（1回/年）
- ・スマート農業研修（1回/年）
- ・さとうきび増産プロジェクト会議の実施
- ・深耕事業の継続実施
- ・単収向上に向けた講習会の実施

(6) 以下の項目のうち重要（特に議論すべき）と考える項目を3つ程度選択して✓を入れて下さい。

1 経営基盤の強化

✓	農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保
	農業共済制度への加入促進

2 生産基盤の強化

	気象災害に強い生産基盤の整備
✓	機械化一貫体系の確立
	地力の増進

3 技術対策

✓	病虫害防除
	台風・干ばつ対策
	優良品種の選択・普及

4 その他（自由記述）

※✓した項目については、OPの「～～」を作成する

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

① 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

【現状】

・さとうきび生産農家戸数は、平成27年の3,227戸から令和6年は2,462戸まで減少しており、収穫面積も平成27年の1,355haから令和6年の1,096haまで減少している。
・さらに、オペレータの高齢化や機械の老朽化が進み、辞めるオペレータも出てきているため、委託要望の増加に対して受け手側が対応できていないという状況である。

【生産者数、収穫面積、1戸当たりの栽培面積の推移】

	H27	R元	R6
農家戸数	3,227	2,744	2,462
収穫面積 (ha)	1,355	1,186	1,096
一戸当たり収穫面積 (ha)	0.42	0.43	0.45

【課題】

・農家の高齢化に伴い、さとうきび生産農家数及び栽培面積が減少傾向にある。
・オペレーターの育成を行う必要がある。

【課題に対応した取組及びその実施者】

・離農・規模縮小する農家の把握、規模拡大農家への農地の集約（市町村、農地中間管理機構、さとうきび協議会）
・若手農業者・後継者の育成（普及、さとうきび協議会、JA、工場、市町村）
・オペレータ研修、機械士養成研修、各種機械実演会の実施（さとうきび協議会、普及、JA）
・農業法人等受委託組織の育成を図り、離農の抑止を図る。（さとうきび協議会、市町村、JA、工場、普及）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・OCR調査時にさとうきび農家への今後の生産意向について確認し、さとうきび農地の貸し借りの促進を図る。
- ・各種オペレータ研修や各種機械実演会を通して生産法人等のオペレータ育成を実施する。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・市町村の地域計画の元、地域の話合いに参加し、さとうきび栽培の担い手へスムーズに引き継ぎ、さとうきび農地の集積・集約化を支援する。
- ・耕作放棄地になった農地からさとうきび農地へ転換できるよう、関係機関と連携する。
- ・機械価格が上昇していることから、各種補助事業を活用し、生産法人等の経営を支援する。
- ・令和7年3月に策定した地域計画に基づき、農地中間管理機構等を活用した農地集積を進め、地域計画の更新を進め、さとうきびの担い手の育成・確保を図る。

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

- ・欠株対策として補植苗の確保（一芽苗、二節苗、鞘頭部苗）を推進する。
- ・単収低下圃場更新の推進（深耕事業の活用など）

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

② 農業保険の加入促進

【現状】

台風、干ばつ等の気象災害が多発する本県において、さとうきび生産農家の経営安定を図るため、農業共済団体、市町村等関係機関と連携し、農業共済制度の普及・啓発、加入促進を図っているが、制度に対する認識不足が見られるため、制度理解の促進が課題となっている。このことから、関係団体と連携しながら共済加入、制度理解の促進に取り組んでいる。

<畑作物共済加入状況>

	26年産	R4年産	R6年産
有資格戸数(戸)	3049	2411	2299
加入戸数(戸)	428	345	264
戸数引受率(%)	14	14.3	11.5
対象面積(ha)	1360.7	1171	1149
引受面積(ha)	217.6	203.3	163.1
面積引受率(%)	16	17.4	14.2
支払金額(千円)	21066	4775	-

<収入保険制度への加入状況>

	R4	R5	R6
加入戸数(戸)	4	8	7
引き受け面積(ha)	10.2	19.3	15.5
面積加入率(%)	0.9	1.7	1.3

【課題】

- ・農家の共済制度に対する理解が十分でなく、一層の制度周知が必要

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・共済制度や収入保険のパンフレットを作成し、各種会議でPRを実施する（共済組合）
- ・OCR調査や各種栽培講習会と併せた加入促進（共済組合、JA、きび協、県、市町村）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・共済制度や収入保険のパンフレットを作成し、各種会議でPRを実施する（共済組合）
- ・OCR調査や各種栽培講習会と併せた加入促進（共済組合、JA、きび協、普及、市町村）

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・気象災害等のリスクについて周知し、共済加入への意欲を高める。

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

① 気象災害に強い生産基盤の整備

【現状】

本地域においては、台風の襲来や干ばつによる被害が発生している。地下ダム整備地区の利用率やかん水器材の保有率が低く、水源の確保やかん水体制の整備、かん水効果の普及啓発が十分に進んでいないため、かん水の実施が十分に行われていない状況である。安定した農業生産を確保するために水資源やかんがい施設、農地防風林・保安林の整備が今後も必要となる。

< 農業基盤整備の状況 >

- ① 土地基盤整備 : 55.3%
- ② 畑地灌漑整備 : 26.1%
- ③ 圃場整備率 : 72.6%

※R6年度実績見込み

【課題】

- ・ 地下ダム整備地区の利用率が低い。
- ・ 水源（取水箇所）が確保されていない。
- ・ かん水器材の保有率が低い。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 干ばつ対策会議の設置・開催、かん水タンクの導入、既存かん水機材・かんがい施設の利用促進、ほ場での水源の確保（市町村、さとうきび協議会、工場、普及、農家）
- ・ かん水実施体制の検討（市町村、普及、さとうきび協議会、JA、工場）
- ・ 水源の設置（市町村）
- ・ 水源一覧の作成（市町村、普及センター、さとうきび協議会、JA、工場）
- ・ 簡易井戸設置の推進（市町村、農家）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ かん水講習会により、かん水の必要性、散水機材（散水車やかん水チューブ）をPRする。
- ・ かん水実施体制の検討

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 計画的な基盤整備の着実な推進

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

② 機械化一貫体系の確立

【現状】

さとうきび生産農家の高齢化や担い手、労働力不足により、ハーベスタによる収穫が増加している(R6:ハーベスタ収穫率63%)。また、南部地域はほ場面積が小さく傾斜地や点在ほ場で作業効率が悪いいため、保有ハーベスタだけでは製糖期間内の収穫に限界があり、他地域ハーベスタの応援を受けている。さらに、植付労力の不足に伴い、多回株出圃場が増加している。一部では、ドローンの導入等により作業の効率化・省力化が図られてきているが、オペレータ数の不足や収穫機械の老朽化により、収穫後の適期植付や株出管理の遅れを招き、農作業全体のスムーズな進行に支障をきたしている。また、単収の低下した多回株出圃場の改植更新のためにビレットプランターや全茎式プランター、苗刈機の導入が課題となっている。

<ハーベスタ稼働率の推移>

	26年産	R2年産	R6年産
保有台数	25台	43台	42台
収穫面積	401ha	652ha	691ha
(%)	(28.0%)	(53.5%)	(63.0%)
収穫量	18,030t	33,284t	40,523
(%)	(25.0%)	(48.0%)	(65.6%)

【課題】

- ・ハーベスタの老朽化により計画的な収穫の実施が課題となっている。
- ・採択地区数の減少によりハーベスタの更新が滞っている。
- ・スマート農業に対応したオペレーターの育成
- ・スマート農機の導入費用対策（機器、免許）
- ・ドローンで使える薬剤が限定的である。
- ・ハーベスタとトラクターのオペレータが同一なため、適期管理の遅れ対策が課題となっている。
- ・受益地区の限定によりハーベスタの更新が進んでいない。
- ・大型搬出機の導入とオペレーターの育成
- ・ビレットプランターや全茎式プランター、苗刈機の導入
- ・ブームスプレイヤー等効果的な防除機械の導入

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・機械導入事業の活用に向けた検討（市町村、生産法人）
- ・オペレータ育成に向けた講習会の実施（普及、農業機械士会、さとうきび協議会、JA）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃の実施する予定の取組を記載

- ・機械導入事業等の活用の検討
- ・オペレータ育成に向けた講習会の実施
- ・ビレットプランター、全茎式プランター、苗刈機導入の推進
- ・株出し管理管理体制の確立
- ・株出し管理の重要性の周知
- ・堆肥散布機の導入
- ・けん引式管理機導入

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・機械導入事業等による計画的なハーベスタの導入
- ・オペレータ育成に向けた講習会の実施による育成強化
- ・早期株出管理の推進

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

③ 地力の増進

【現状】

- ・製糖工場から出るフィルターケーキ等をほ場へ還元し、土づくりを実施している。
- ・土づくりに対する理解不足や堆肥を撒く手段がない農家が多いことから堆肥の活用が進んでいない。
- ・肥料高騰により、経営状況が悪化し、多くの農家が補助事業を活用している。

【課題】

- ・ハーベスタによる収穫が進展する中で、有機物の畑地還元等が少ない。
- ・堆肥散布手段の確保
- ・適期肥培管理の実施

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・新植時の深耕、堆肥、保水剤等有機物投入の推進（さとうきび協議会）
- ・心土破碎の推進（さとうきび協議会）
- ・土づくりに関する栽培講習会の実施（さとうきび協議会、普及、JA）
- ・夏植えにおける緑肥利用の促進（さとうきび協議会、JA、普及、市町村）
- ・適期での化学肥料施用の実施（生産者）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・新植時の深耕、堆肥、保水材等有機物投入の推進
- ・心土破碎の推進
- ・土づくりに関する栽培講習会の実施
- ・工場副産物（糖蜜、トラッシュ、フィルターケーキ）の利用推進

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・堆肥散布機の導入による堆肥や土壌改良資材の散布
- ・堆肥の品質向上策の検討や実証ほを設置することで、堆肥の利用促進

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

① 病虫害防除

【現状】

- ・管理作業の遅れに伴う防除対策の遅れが見られる。
- ・害虫の発生量が多い場合には、芯枯れ等枯死が増え、農薬による防除が追い付かないことがある。
- ・シンクイハマキやイネヨトウ等の害虫が発生していることから共同防除を実施している。

〈シンクイハマキ誘殺数の推移〉

年	
H28	391
H29	460
H30	195
R元	2193
R2	5093
R3	4703
R4	4505
R5	3217
R6	3594

【課題】

- ・適期防除の確実な実施に向けた病害虫情報の周知及び指導による病害虫発生防止の徹底

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・農家に対し講習会やほ場巡回時に、病害虫防除の徹底を指導（普及、さとうきび協議会、JA、工場）
- ・定期刊行物を利用した情報の発信（普及、さとうきび協議会）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・発生予察情報を基に共同防除・一斉防除を実施する。
- ・圃場内及び周辺の雑草防除をすすめる。
- ・イナゴ類の増加を防ぐために適期かん水を行う。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ドローン等のスマート農業技術や、ブームスプレーヤー等の導入による防除作業の省力化。

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

② 台風・干ばつ対策

【現状】

台風の襲来や干ばつによる被害が発生している。安定した農業生産を確保するために水資源やかんがい施設、防風林の整備・管理が今後も必要となる。

【課題】

- ・防風林の整備促進、育樹等管理作業の重要性に関する普及啓発
- ・干ばつ要件発生時の事業活用による生産回復を行う。

【課題に対応した取組及びその実施者】

・干ばつ対策会議の設置・開催、かん水タンクの導入、既存かん水機材・かんがい施設の利用促進（市町村、さとうきび協議会、工場、普及）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

・梅雨明け後の計画的なかん水の推進、栽培講習会、ほ場巡回時等による農家へのかん水の呼びかけ。

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

・耐風性、耐干ばつ性品種の導入・普及拡大

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

③ 優良品種の選択・普及

【現状】

- ・株出栽培の比率が高いことから、収穫後の株出萌芽性に優れ、茎数が多く多収タイプの品種が求められてきた。現在は農林27号（Ni27）が43%を占めている。
- ・1～3回の株出しほ場が6割を占める一方で、5回以上の多回株出しが2割を超えている。

単位：%

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
農林8号	21	21	20	17	14	12	11	13	7.4
農林15号	4	2.9	2.1	1.6	1.9	1	0.8	1.5	0.6
農林21号	22	21	19	17	15	14	14	7.4	11
農林22号									1.8
農林24号									0.3
農林25号									0.4
農林26号									0.2
農林27号	4.8	7.7	12	18	24	30	33	25	43.2
農林28号									2.4
農林29号									5.5
RK97-14									0.3

【課題】

- ・ 株出中心の栽培が多いので、萌芽性に優れた優良品種を普及したいが、生産者は茎径の太いキビを好む傾向があり、株出多収の中太茎品種の普及を図る。
- ・ 早期高糖、多収性、萌芽性に優れた品種の普及を図る。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 種苗対策事業による優良種苗ほの設置（市町村、さとうきび協議会、普及）
- ・ 品種特性の周知、営農体系に応じた品種の選定、普及を図る。（市町村、さとうきび協議会、JA、工場、普及）
- ・ 品種展示ほの設置等を通じた適正品種の普及を図る。（市町村、さとうきび協議会、JA、工場、普及）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 品種に対する理解を共有するため、栽培講習会を実施する。
- ・ 種苗対策事業による種苗ほ設置による優良種苗の普及

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 種苗対策事業による種苗ほ設置による優良種苗の普及
- ・ 栽培講習会や展示ほ設置等による適正品種の普及

【自由記述欄】※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイディア要望等

—

重点課題における関係者の役割分担と実施状況 ※令和7年度に3期目計画を立てる際は、右側の「今年度の具体的な取組計画」のみ記入。

重点項目： 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
市町村					・農業委員会、増プロ構成機関等と連携した地域計画樹立に向けた話し合いの充実	・収穫面積の維持
普及センター					・栽培講習会、機械実演会の実施と展示圃の設置	・栽培講習会等情報発信回数
JA					・OCR調査時に受託作業の有無の意向を確認する	・受託作業者の掘り起こし、規模拡大・縮小農家の把握
ゆがふ製糖					-	-
南部きび協					・栽培講習会、機械実演会の実施と展示圃の設置	・農家の単収向上

重点項目： 機械化一貫体系の確立

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
市町村					・地域受託作業者の把握	・機械化一貫体系の確立 ・委託希望農家への斡旋
普及センター					・オペレータ、受託作業農家の経営指導	・オペレータ、受託作業農家の経営基盤強化
JA					・事業導入計画	・ハーベスタの導入
ゆがふ製糖					・受託作業のサポート	-
南部きび協					・オペレータ、受託作業者の育成に向けた研修会の実施	-

重点項目： 病虫害防除

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
市町村					・適期防除に係る取り組みの支援	・関係機関と連携した取り組み
普及センター					・栽培講習会、展示圃の設置	・栽培講習会等情報発信回数
JA					・共同防除の支援	・共同防除の実施
ゆがふ製糖					-	-
南部きび協					・栽培講習会、機械実演会の実施と展示圃の設置	・栽培講習会等情報発信回数

さとうきび関係事業の活用実績（R7年度～）

【国補正事業（生産対策）】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
R6補正・3次公募	深耕費用助成	26,771,250	11,195,000	—
R6補正・3次公募	化学肥料助成	54,862,720	11,979,000	—
R6補正・3次公募	新植夏植助成	7,500,000	45,000,000	—
R6補正・3次公募	機械メンテナンス費用の助成	15,752,000	7,175,000	—

【セーフティネット事業】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

【実証・研究事業（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	取組内容	総事業費	補助金	その他
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

【機械導入（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	導入機械	総事業費	補助金	その他
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

【市町村単独事業】

事業年度	市町村名	事業名	取組内容	予算額	実績額
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

(参考情報①)

1. 県(島)の概況、農業・さとうきび作の位置づけ等

沖縄本島南部は、温暖な気候と豊かな土壌条件に恵まれており、さとうきび栽培に適した地域となっている。南部地域は、都市化も進んでいるが、依然として農地が多く残り、さとうきびは地域農業の重要な作物となっている。

2. さとうきび生産の現状

生産の現状

- ・高齢化に伴い、機械収穫需要が増加し、収穫機械が不足している。
- ・夏植えは収入が入るまでに時間がかかるため春植えへの転換を望む農家が増加している。
- ・圃場の更新は労力・費用がかかることから、多回株出しが増えている。
- ・ハーベスターの老朽化が進む一方、受益地区の制限により機械更新が進んでいない。

【近年の作物別作付面積の動向】

(1) 作物別作付け面積の動向

(2) さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移

	耕地面積	作付面積	耕作放棄地	さとうきび	かんしょ	水稻	野菜	飼料作物	その他
H17	4,631	-	-	1,696	43	-	-	-	-
H18	4,641	-	-	1,690	44	-	-	-	-
H19	4,647	-	-	1,685	-	-	-	-	-
H20	4,635	-	-	1,685	-	-	-	-	-
H21	4,634	-	-	1,613	-	-	-	-	-
H22	4,629	-	-	1,574	-	-	-	-	-
H23	4,585	-	-	1,546	-	-	-	-	-
H24	4,577	-	381	1,518	-	-	-	-	-
H25	4,515	-	362	1,377	-	-	-	-	-
H26	4,488	-	344	1,394	-	-	-	-	-
H27	-	-	330	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	349	-	-	-	-	-	-
H29	-	-	367	-	-	-	-	-	-
H30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R元	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				糖度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	188	244	1,264	1,696	9.6	5.0	6.2	6.4	18,022	12,076	77,953	108,051	14.7
H18	207	247	1,236	1,690	9.0	5.5	6.4	6.6	18,634	13,697	78,641	110,973	14.3
H19	236	233	1,215	1,684	9.1	5.7	6.3	6.6	21,486	13,250	76,905	111,641	14.4
H20	159	248	1,277	1,684	9.4	6.9	7.6	7.7	14,915	17,065	97,535	129,515	14.7
H21	176	217	1,220	1,613	10.2	6.2	6.9	7.2	18,017	13,321	84,007	115,345	14.7
H22	154	242	1,178	1,574	9.1	5.7	6.5	6.7	14,005	13,874	77,069	104,948	14.6
H23	164	241	1,142	1,547	5.3	4.1	4.6	4.6	8,615	9,939	52,067	70,621	14.2
H24	158	274	1,086	1,518	7.1	3.9	4.7	4.8	11,186	10,803	51,020	73,009	13.7
H25	138	165	1,074	1,377	6.6	4.8	5.5	5.6	9,107	7,920	59,533	76,560	14.6
H26	172	203	1,018	1,393	7.3	4.3	5.1	5.3	12,612	8,713	52,010	73,334	14.0
H27	123	177	1,055	1,355	7.7	5.7	6.1	6.2	9,483	10,040	64,608	84,131	14.0
H28	121	149	1,034	1,304	7.9	6.2	6.8	6.8	9,546	9,229	69,849	88,624	14.9
H29	111	175	1,002	1,287	7.7	5.7	5.9	6.1	8,486	9,995	59,546	78,028	14.4
H30	89	184	998	1,272	6.7	4.5	5.1	5.1	6,005	8,223	51,008	65,236	13.6
R元	74	182	931	1,186	7.4	4.5	4.7	4.9	5,482	8,179	44,022	57,683	15.3
R2	109	180	928	1,218	7.0	5.2	5.6	5.7	7,604	9,303	52,403	69,310	15.1
R3	84	180	956	1,220	7.5	5.2	5.3	5.4	6,285	9,409	50,552	66,247	15.2
R4	55	140	997	1,193	8.1	5.3	5.3	5.4	4,477	7,378	52,921	64,776	14.2
R5	55	143	969	1,168	7.0	4.7	4.7	4.8	3,886	6,701	45,671	56,258	14.7
R6	53	149	894	1,096	7.4	5.2	5.5	5.6	3,939	7,847	49,975	61,761	14.4

(参考情報②)

【年齢階層別農家戸数】

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
H17							0
H18							0
H19	18	112	330	801			1261
H20	20	107	333	843			1303
H21	23	112	346	869			1350
H22	19	102	337	840			1298
H23	22	97	328	825			1272
H24	27	105	331	809			1272
H25	26	95	287	739			1147
H26	22	88	255	659			1024
H27	33	117	319	736	1314	1455	3974
H28	33	117	319	736	1314	1455	3974
H29	27	105	264	681	1330	1204	3611
H30	31	76	234	554	1141	1118	3154
R元	27	86	219	519	1115	1152	3118
R2	27	85	215	491	1039	1215	3072
R3	23	78	195	449	962	1232	2939
R4	19	75	177	407	887	1248	2813
R5	15	79	164	347	815	1142	2562
R6	17	82	166	364	800	1231	2660

【経営（収穫）規模別農家戸数】

	100a未満	100～300a 未満	300～500a 未満	500a以上	合計
H17	4,049	190	13	3	4,255
H18	4,009	171	11	2	4,193
H19	4,157	197	17	4	4,375
H20	4,083	211	17	4	4,315
H21	4,176	216	21	4	4,417
H22	4,433	198	17	3	4,651
H23	3,905	189	18	4	4,116
H24	3,715	205	15	9	3,944
H25	3,314	182	20	5	3,521
H26	3,260	184	16	7	3,467
H27	2968	230	21	8	3,227
H28	3086	147	11	6	3,250
H29	2864	199	19	10	3,092
H30	2789	189	22	32	3,032
R元	2576	170	19	9	2,774
R2	2397	215	26	17	2,655
R3	2439	178	15	19	2,651
R4	2370	232	24	21	2,647
R5	2255	233	22	17	2,527
R6	2190	227	25	20	2,462

【製糖工場の操業状況】

	操業率 (%)	操業期間 (日)	歩留 (%)	トラッシュ率 (%)
H17	59.48	87	12.01	4.91
H18	60.46	91	11.86	5.43
H19	60.09	88	12.15	5.27
H20	70.19	100	12	5.16
H21	61.45	85	11.87	5.78
H22	56.13	89	12.09	5
H23	37.42	69	11.42	6.55
H24	38.45	69	11.69	4.91
H25	40.26	71	11.79	6.86
H26	38.61	71	11.96	6.52
H27	74.62	109	11.01	9.5
H28	83.49	122	12.07	9.81
H29	71.31	105	11.76	10.22
H30	60.17	100	10.91	5.64
R元	50.42	89	12.03	10.78
R2	59.65	92	12	10.24
R3	58.01	94	12.02	11.33
R4	56.12	90	12.06	10.8
R5	46.24	88	11.9	10.7
R6	54.21	87	12.3	11.44

(参考情報③)

【作業受託組織の状況】

	農作業受託組織数			農作業受託調整組織の有無と役割		
	合計	組織	個人	有無	名称	役割
R7	41	19	22	有	ハーベスタ運営委員会 (糸満市のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫請負の割り振り ・進捗確認 ・機械操作技術の意見交換会を月1回程度開催(8月～3月)

【作業委託料金】

作業名	料金	料金の設定方法及び島内の料金体系	備考
収穫	5,500円 6,000円 6,050円 6,150円 6,600円 97円/坪	1ヶあたりの料金	作業単価は受託組織によってまちまちであるが、受託量の多い組織の単価を優先して記載した
植付	55円/坪 99円/坪 165円/坪 200円/坪 44円/坪	プランタ植付のみ 砕土+植付 苗込みの植付 苗込みの植付 畝立	作業単価は受託組織によってまちまちであるが、受託量の多い組織の単価を優先して記載した
株出管理	35円/坪 30円/坪 30円/坪 50円/坪	中耕 心土破碎 株揃え 培土	-
防除	1,500円 /300坪	ドローンによる農薬散布	-
その他	120円/坪 6,000円/時間	更新圃場 (パワーショベル) 遊休地等 (パワーショベル)	-

(参考情報④)

【畑地かんがいの整備状況】

	貯水施設		畑地かんがい 整備率	かん水方法			畑地かんがい整備の現状と 整備率向上に向けた今後の取組
				形態	使用料金	使用条件等	
R7	地下ダム	糸満市 八重瀬町具志紙 糸満市真栄平、東里	-	Ⅱ型 Ⅲ型	基本料金3,000円/10a 使用料25円/トン 使用料100円/トン	他所への水運搬は不可 主に島尻マージ地域 指定地域のみ取水可能	開栓率の引き上げ策を検討
	ダム	南風原ダム(南風原町) 大城ダム(南城市)	-	有	無償	-	野菜農家のみが利用
	ため池	糸数地区(南城市) 玉城西部地区(南城市)	-	タンクで運搬、配管 Ⅱ型予定	1,000円~30,000円/年 圃場への配管工事中	-	貯水池が9基 ファームポンド設置計画あり
	その他	旧東風平町 南城市、八重瀬町	-	地下貯水タンク 下水道処理施設	無償	タンク容量400t×36基 タンク容量10t	-

(参考情報⑤)

【共済加入目標】

	H26	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	3,049	2,299	2,448	2,448	2,448	2,448	—
加入戸数	428	264	234	234	234	234	—
戸数引受率(%)	14	12	10	10	10	10	—
対象面積(ha)	1,361	1,149	1,171	1,171	1,171	1,171	—
引受面積(ha)	217.6	163	155	155	155	155	—
面積引受率(%)	16	14	13	13	13	13	—
支払金額(千円)	21,066	2,086	—	—	—	—	—

【収入保険制度への加入目標】

	H30	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	2,656	2,299	2,299	2,299	2,299	2,299	—
加入戸数	0	7	13	13	13	13	—
引受面積(ha)	0	15.5	20.6	20.6	20.6	20.6	—
面積加入率(%)	0	1.3	1.8	1.8	1.8	1.8	—

(参考情報⑥)

【作型別割合】

	夏植	春植	株出し
H17	11%	14%	75%
H18	12%	15%	73%
H19	14%	14%	72%
H20	9%	15%	76%
H21	11%	13%	76%
H22	10%	15%	75%
H23	11%	16%	74%
H24	10%	18%	72%
H25	10%	12%	78%
H26	12%	15%	73%
H27	9%	13%	78%
H28	9%	11%	79%
H29	9%	14%	78%
H30	7%	14%	78%
R元	6%	15%	78%
R2	9%	15%	76%
R3	7%	15%	78%
R4	5%	12%	84%
R5	5%	12%	83%
R6	5%	14%	82%
R17(目標)	7%	13%	80%

【株出し回数別面積】

	株出し回数別面積 (ha)							平均回数
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	
H17	410	298	260	179	60	22	34	2.51
H18	349	357	246	185	68	16	14	2.49
H19	294	309	309	168	80	20	34	2.69
H20	362	293	303	174	82	35	28	2.64
H21	311	308	236	170	113	50	32	2.79
H22	304	287	237	125	85	62	78	2.91
H23	314	274	220	129	64	46	94	2.89
H24	348	270	161	114	57	33	102	2.79
H25	379	250	172	91	64	31	88	2.68
H26	264	295	173	110	51	40	85	2.85
H27	344	203	212	111	62	31	93	2.82
H28	274	266	154	138	72	43	89	2.95
H29	253	227	195	100	84	48	96	3.06
H30	283	209	166	122	63	52	103	3.04
R元	261	212	157	104	65	36	96	2.99
R2	251	217	158	99	61	42	100	3.03
R3	271	221	168	102	64	36	93	2.94
R4	258	233	172	112	76	46	100	3.05
R5	191	224	184	126	73	55	116	3.30
R6	203	167	167	132	96	38	89	3.25
R17	321	190	198	104	58	26	79	2.78

(参考情報⑦)

【近年の品種別収穫面積の推移】

作型	夏植						春植						株出し						合計					
	Ni21	NiH25	Ni27	Ni29	RK97-14	その他	Ni21	NiH25	Ni27	Ni29	RK97-14	その他	Ni21	NiH25	Ni27	Ni29	RK97-14	その他	Ni21	NiH25	Ni27	Ni29	RK97-14	その他
H17	-	-	-	-	-	188	-	-	-	-	-	244	-	-	-	-	-	1264	-	-	-	-	-	1696
H18	-	-	-	-	-	207	-	-	-	-	-	247	-	-	-	-	-	1336	-	-	-	-	-	1790
H19	-	-	-	-	-	236	-	-	-	-	-	233	-	-	-	-	-	1215	-	-	-	-	-	1684
H20	-	-	-	-	-	159	-	-	-	-	-	248	-	-	-	-	-	1277	-	-	-	-	-	1684
H21	7	-	-	-	-	169	1	-	-	-	-	216	9	-	-	-	-	1211	17	-	-	-	-	1596
H22	11	-	-	-	-	143	29	-	-	-	-	213	17	-	-	-	-	1161	57	-	-	-	-	1517
H23	11	-	-	-	-	153	56	-	-	-	-	185	50	-	-	-	-	1092	117	-	-	-	-	1430
H24	26	1	-	-	-	131	78	3	-	-	-	193	107	1	-	-	-	1070	211	5	-	-	-	1394
H25	29	1	1	-	-	107	52	2	4	0	-	107	177	5	-	-	-	890	258	8	4	0	-	1104
H26	35	2	6	-	-	129	55	3	12	1	-	132	211	6	7	0	-	794	301	11	19	1	-	1055
H27	23	1	11	0	0	88	37	2	28	0	0	110	238	9	26	1	0	781	298	12	65	1	0	979
H28	15	1	13	0	0	92	28	3	30	2	0	86	233	10	57	2	0	732	276	14	100	4	0	910
H29	14	0	17	0	0	80	24	1	50	5	3	91	207	11	90	5	1	688	245	12	157	10	4	859
H30	11	2	15	0	1	60	27	1	64	5	6	82	182	9	147	6	6	648	220	12	226	11	13	790
R元	11	1	15	0	1	46	22	1	66	7	5	81	148	7	201	12	11	552	181	9	282	19	17	679
R2	11	1	31	1	2	63	22	0	78	7	7	66	137	7	238	17	16	513	170	8	347	25	25	642
R3	15	1	25	2	1	40	20	0	84	10	6	60	132	6	295	20	23	480	167	7	404	32	30	580
R4	6	0	26	2	2	19	12	0	77	13	5	33	131	6	347	27	27	459	149	6	450	42	34	511
R5	4	0	30	5	1	15	8	0	84	20	4	27	120	4	390	40	27	388	132	4	504	65	32	430
R6	3	0	25	9	1	15	7	1	37	25	2	77	91	3	407	55	22	316	101	4	469	89	25	408